

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：長崎

グループ：3班

2022. 8 .20

「現役高校生」が考える デジタル社会における学び方と学びの場

■学校の目的

- ・ **出会いの場**
 - 恩師や友人との交流の場（一生の友達）
- ・ **学校に行かないと体験できないことがある**
 - 行事や生徒会を体験できる。

■コロナ渦を過ごしてのメリットとデメリット

◇メリット

- ・ コロナで人と接触してはいけない時期でも授業を受けられる。
- ・ 画面共有がしやすいので勉強がしやすい（先生から自分のノートを使って教えてもらうときに分かりやすかった、資料もリンクを用いてダウンロードでき便利だった）。
- ・ コロナに感染するリスクを減らせる（授業以外ではアーティスト（BTS）のライブなども楽しめる）。

◇デメリット

- ・ 授業を受けるツールの機能を理解しないとやりとりがしづらい。
- ・ 学校の施設でないとできないこともある（美術部の画材は学校にしかない）
- ・ 動画より実際に教えてもらったほうが身につく。
→ダメなところを指摘してもらえらる。

■理想のオンライン

- ・ビデオ通話によって動作が重くならないようなアプリがほしい（電源が落ちたり、他のアプリを開けなくなるようなことをなくしたい）。
- ・ビデオ通話で、海外の人と話すときに、リアルタイムで翻訳して話せるようなアプリが欲しい。

■高校生が考えるコミュニケーションの未来

- ・ビデオ通話で、海外の人と話すときに、リアルタイムで翻訳して話せるようなアプリが欲しい。
→海外の人とのコミュニケーションの壁が低くなる。外国語の勉強をしやすくなる。
- ・東京の高専に犯行予告がきた。インターネットを用いた詐欺が増えている。
→ネット犯罪への対策は必要。
- ・特に高齢者の方はインターネットの知識が少ないため、騙されやすい。また、現代では、ほとんどの人がインターネットを使っているので、サイバー犯罪が増えていると思う。
→企業を偽ったメールの詐欺が多いので、インターネットを使って本当に企業からきたメールかを確認してから開く

ポイント1 学校とは何か（メモ）

- ・勉強をする場（学問、友達のコミュニケーション、将来社会に出た時の知恵や礼儀を得る。）
- ・ **出会いの場**
 恩師や友人との交流（一生の友達）
- ・ **学校に行かないと体験できないことがある**（文化祭、体育祭で演技して青春したとか。生徒会とか責任を持つ立場を体験できる。学校にしかない設備を使える。）→行事や生徒会を体験できる。

ポイント2 オンラインのメリットとデメリット

■メリット

- ・登下校時間がなくなるのいい（登下校に2時間かかる）。
- ・コロナで人と接触してはいけない時期でも授業を受けれる。
- ・リラックスして授業を受けれる（対面よりリラックスできる）。
- ・コロナに感染するリスクを減らせる。（授業以外ではアーティスト（BTS）のライブなども楽しめる）
- ・画面共有がしやすいので勉強がしやすい（先生から自分のノートを使って教えてもらうときに分かりやすかった、資料ダウンロードもリンクを用いてダウンロードでき便利だった）。
- ・オンライン（メタバース）を用いてリアルタイムで海外旅行が出来たらおもしろそう。
- ・オンラインゲームで、ミュートにしないといけない場面があり、オンラインだと機能でミュートにすれば確実にできる。対面だと難しい。
- ・オンラインゲームでは、一緒に体験している感覚を得れる。
- ・進路に関して、オープンキャンパス、会社紹介など現地に行かなくても知れる。

ポイント2 オンラインのメリットとデメリット

■デメリット

- ・オンラインだと質問がしづらい（電波状況などが影響、対面だと質問がしやすい）。
- ・授業を受けるツールの機能を理解しないとやりとりがしづらい。
- ・誰が話しているかマスク越しだと分からない。
- ・動画より実際に教えてもらったほうが身につく。
→ダメなところとかを指摘してもらえ。
- ・進路に関して出願要綱をオンライン出願したときに、出願できなかったとかがあった。再提出になった。
- ・学校の施設でないとできないこともある（美術部の画材は学校にしかない）

ポイント3 理想のオンライン

- ・スマホでもっと気軽に会議ができるようになってほしい（現状ZOOMなどでは、URLを発行しないといけず不便）
- ・ビデオ通話によって動作が重くならないようなアプリがほしい（電源が落ちたり、他のアプリを開けなくなるようなことをなくしたい）。
- ・大学の留学をしやすくしたい。
- ・ビデオ通話で、人と話が被ったときに相手の言っていることがわかるようになってほしい。
- ・ビデオ通話で、海外の人と話すときに、リアルタイムで翻訳して話せるようなアプリが欲しい。

ポイント4 高校生が期待するコミュニケーションの未来

- ・ 海外の人とのコミュニケーションの壁が低くなる。外国語の勉強をしやすくなる。
- ・ ネット犯罪への対策は必要。
 - ・ サイバー犯罪に巻き込まれないためには、みんながサイバー犯罪に対しての知識を持っていることが必要。対策として、資格を基準として、使えるインターネットの範囲を制限する。
→ 資格習得後は勉強しなくなり知識量が減るので、資格を基準とすると、この制限ではサイバー犯罪を防ぎきれなくなると思う。
 - ・ 高齢者の方はインターネットの知識が少ないため、だましやすい。また、現代では、ほとんどの人がインターネットを使っているので、サイバー犯罪が増えていると思う。
- ・ 嘘の情報への対策は、一つのニュースだけを参考にすることなく、いろんな情報源を調べてみる。
- ・ 現実とインターネットの嘘の違いでは、インターネットの嘘のほうが難しい。
インターネットのほうが拡散力が高い。